

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神看護援助論Ⅱ	NSP33_007	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
森川 三郎 他	417	s.morikawa	月曜日 講義終了後		
授業の目的・概要	精神看護学概論・精神看護援助論Ⅰの内容をふまえて、精神機能や健康逸脱で生活機能に障害をきたしている人への治療や看護援助の知識及び具体的方法を学ぶことを目的とする。具体的には、精神科における各種の治療・関係する法律を学び、観察・コミュニケーション・患者-看護師関係などの精神看護における援助技法を理解し、更に看護過程を展開する力を習得し、看護師としての自己理解としてプロセスレコードについて学ぶ。授業は関連する動画を取り入れた同時双方向による遠隔授業で行います。				
学習上の助言	学習効果を上げるためには、必ず教科書の各回に関連する箇所及び前週に配信する授業資料(PPスライド資料他)を読んでおくこと。また各回のリアクションペーパーによって、フィードバックを行います。共通の内容については次回の授業初めに、個別の内容についてはメール等で振り返ります。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護の基礎/著:武井麻子/医学書院/2019第5版 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ精神看護の展開/著:武井麻子/医学書院/2019第5版 [概論・援助論Ⅰ・実習と合わせて2冊指定]				
参考書	認知行動理論に基づく精神看護過程/中央法規/岡田佳詠/2016				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神科領域の代表的な治療的アプローチが理解でき、説明できる。	NS(2)(3)(4)			
②	患者の家族及び精神科領域で協働する他職種を理解し、各々の役割を説明できる。	NS(2)(3)(4)			
③	社会復帰関連事業を理解し、精神医療の全体像がイメージでき、説明できる。	NS(2)(3)(4)			
④	精神科の看護技法(観察・コミュニケーション・患者看護師関係)を理解し、活用できる。	NS(2)(3)(4)			
⑤	統合失調症患者に関する看護過程を理解し、問題点・対策を立てることができる。	NS(2)(3)(4)			
⑥	プロセスレコードの学習を通して、自己理解ができる。	NS(2)(3)(4)(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	精神科治療的アプローチの基本として精神療法(個人・集団)・作業(活動)療法・レクリエーション療法を学ぶ。	同時双方向授業	精神科治療について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
2	精神療法の基礎理論による違いを理解し、無意識を中心とした療法(精神分析)を学び、精神科看護の役割を考える。	同時双方向授業	精神分析について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
3	2に引き続き、指導・教科を中心とした療法(認知療法及び行動療法等)について学び、精神科看護の役割を考える。関連動画 15分視聴。	同時双方向授業	認知療法・行動療法について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
4	2に引き続き、支持を中心とした療法(カウンセリング及び非指示的療法)を学び、精神科看護の役割を考える。	同時双方向授業	支持を中心とした療法について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
5	精神疾患患者の家族の状況及び特徴について理解し、家族療法及び家族支援の方法を学ぶ。関連動画 9分視聴。	同時双方向授業	家族への援助について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
6	精神医療で協働する他職種(Dr・OT・PSW・CP等)の役割及び社会復帰関連事業について学ぶ。関連動画 8分視聴。	同時双方向授業	他職種・社会復帰関連事業について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
7	オープンダイアログ・ストレスモデル・当事者研究など、精神医療に関する今日的な概念・アプローチを学ぶ。関連動画 12分視聴。	同時双方向授業	精神科リハビリテーションについて教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
8	精神保健福祉法及び関連法規を学び、精神障害者のおかれてきた歴史的状況と今日の状況を学ぶ。関連動画 7分視聴。	同時双方向授業	精神科に関する法律の変遷について予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
9	入院形態、人権と面会・通信・隔離・拘束等の行動制限を中心に精神保健福祉法を学ぶ。関連動画 12分視聴。	同時双方向授業	精神科での行動制限について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
10	精神面・身体面・日常生活・発達段階・対象関係・対処行動を中心に精神看護における観察技法を学ぶ。	同時双方向授業	観察技法について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	
11	コミュニケーションの基礎を概観し、精神科における治療的コミュニケーション技法を学ぶ。関連動画 27分視聴。	同時双方向授業	コミュニケーション技法を教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1	

[専門教育科目/看護の展開/精神看護学]

12	精神看護における患者-看護師関係の展開について、ペブロウ・外口玉子・川野雅資らの考え方を学ぶ。	同時双方向授業	患者-看護師関係について教科書で予習し、復習として授業資料を読み返す。	1			
13	精神科領域において看護過程を展開するために必要な知識を学び、情報収集・アセスメントの方法を学ぶ。	同時双方向授業	予習として、基礎看護学・成人看護学で学んだ看護過程について復習しておく。	1			
14	プロセスレコードの記載方法を学び、自己理解・対象理解・関係理解の方法を学ぶ。	同時双方向授業	テキストⅡの「プロセスレコード」に関する箇所を予習しておく。	1			
15	「精神科看護必携カード98」を作成し、スマートフォンファイルと付け合せ、精神科看護の知識をまとめる。	同時双方向授業	スマートフォン又はPC、及びはさみを用意する。	1			
試	定期試験	達成度評価	評価のポイントを参照				
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	筆記試験:講義で得られた知識を問う。				試験については第15回目の講義の際に解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	達成度評価のその他は、各回のリアクションペーパーの内容に関する予定です。発表・表現伝達する力、取組みの姿勢・意欲、問題を発見・解決する力を評価します。				次回の授業で振り返ります。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
担当教員:◎森川 三郎、石野 徳子							
教員の実務経験: 20年以上の精神科臨床看護に携わった経験を持つ。 実践的授業の内容: 授業の中に実際の事例を取り入れ、学生の現実的理解を促している。また、看護過程演習においては、オリジナルな患者事例を提示し、実際の臨床現場で行なわれている看護を再現しながら看護方法を教授している。							
○Teamsを使用した同時双方向型授業を行います。授業前に提示した授業資料は印刷しておいて下さい。授業に動画視聴もありますので、通信容量制限がある場合は通信料に十分注意して下さい。 ○授業時間中に生じた疑問・質問は、当該授業の進行に関係する場合はチャットにて相互確認をします。それ以外は、授業終了後か、リアクションペーパーによって行います。全体に関係する内容については次回の授業開始時に回答します。個別のものはメール等で回答します。 ○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性があります。 ○本授業を主に担当する教員は、20年の精神科臨床の実務経験を生かして、多くの実践的な事柄を踏まえて教授する。 ○本授業は、これに続く精神看護実習に必要となる知識・技術を中心として構成されているので、自分が臨床に立った時をイメージして、積極的に学んで欲しい。 ○第15回は、オリジナルの「精神科看護必携カード98」を作成し、スマートフォンファイルにも送信し、両者を付け合せながら精神科看護全体の知識(臨地実習・国家試験対策等)の獲得をはかるものである。							